

試合は試し合いと読みます。

だから、練習に出てこない子は試合に出られないのです。練習した成果を試し合うのげ試合だからです。南は1978年2月に由井三小の体育館でクラブ創立の会を行いました。現在の6年生は第33期生ですが、創立以来、努力することの素晴らしさを実感してもらい、他を思いやる優しさ、やりぬく強さを持つ子に育ってほしいと願い、目標として活動してきました。試合では「どの子も試合の半分を出す」が原則ですが、練習をしていないで試合の時にだけ来る子は対象から外れます。なにも試すことがないからです。練習を一生懸命している子はどの子も上手くなりた

09・10・31 (土)
南NEWS NO31

マッチ⇒トレーニング⇒マッチ

サッカーに大切な活動の原則は、M-T-Mと言われています。ため
て、成果と課題を見つけ、その後のトレーニング(練習)で良いところはさらに伸ばし、課題は解決を図って、次の試合に臨むということを表しています。ですから、試合をしていれば強くなるというものではありません。試合をした後、何ができて何ができなかったかをみんなで考え、互いに伝え合い、課題解決のための努力をするチームが強くなっていくのです。南はそれをめざしています。試合をするだけで強くなるのなら、全日本はとっくにワールドカップ優勝です。文責 矢上

5・6年生 市民大会の結果

2009年10月18日 会場：愛宕小学校

担当コーチ：小松コーチ 帯同審判：松島審判員 三浦コーチ

○ブロック1回戦

南八王子 2-1 殿入 前半0-1 得点者 矢島君 横山君

前半はテーマにしたアプローチが甘くプレッシャーがかからず、相手の身体能力の高い選手にかき回され苦戦を強いられる。そんな11分、この選手のロングローがゴール近くまで届き混戦から失点をすする。思っても見なかった展開である。そのまま防戦が続く中ハーフタイムを迎えました。矢島君からはアプローチがうまく相手を自由にさせているとの反省がありました。後半に入ると改善され始め南ペースになってきました。開始3分DFサイド裏でボールを受けた矢島君がゴールに向かってドリブル開始シュートを決めました。6分にはこれも矢島君のドリブルからゴール前にクロスを上げ、横山君が相手と競り合いながらもゴールを決めました。MF白石君のアーリークロスを効果的で得点チャンスを作っていた。スイーパー奈良君と、トップ下諸井君のポジションチェンジも効果的に決まり奈良くんの持ち味である突破力が活かされました。相手のエースである体の大きい身体力の高い選手とマッチアップしたのは國廣君です。ことごとく突破されましたが、あきらめずに食い下がり、小山君とドッチングで得点を許しませんでした。前半の失点を見事に取り返した逆転勝利です。b y 小松コーチ

ニーニャス大会中央大会

10月18日(日) 日野市多摩川グラウンド



○リーグ戦

南八王子 対 国立二小 0-1 (前半0-1)

3年生2名、2年生3名、1年生4名の9名全員が出ての試合で、出た全員が良く戦い、この子が良くて、この子が良くなかったと言うことがなく、みんなで一生懸命試合をしました。

この日に向けて、Cクラスの男子に協力してもらい、何回も何回も練習試合かさね頑張ってきて、今回に臨みみんな十分に力を出し切ったと思います。

開始早々にゴール前の競り合いで、ボールを取ろうと出たキーパーの頭越えで得点されて、その後一進一退で良く戦いましたが、結果0:1で負けてしまいました。

南八王子 対 南大沢 0-1 (前半0-0)

全員3年生の南大沢に全員GAMBAり押し気味に試合を進めましたが、後半最後に一瞬開いたスペースにロングシュートを打たれ、1点を取られて負けてしまいました。

<別記>

この大会には2年生のエース：小沢さんがインフルエンザの学級閉鎖のため出場しませんでした。2試合とも接戦だったため、小沢さんがもしいたら・・・と考えたつもりですが、規則通りに出場を我慢した小沢さんは偉かったと思いますし、また小沢さん抜きでも全力で戦ったみんなも偉かったと思います。

ニーニャス大会は3年生以下の大会です。この悔しさは、きっとで来年果たしてくるでしょう。また、この大会のためにCクラスの男の子たちの胸を何度も借りて練習試合をさせてもらいました。その成果は遺憾なく発揮されていたと思います。男の子たち、コーチの皆さんに感謝したいと思います。

b y 飛田コーチ

